



生活のベースとなる、豊かな自然があります。

雄大な山や海、美しい自然に囲まれた北陸。春夏秋冬、それぞれが趣き深い変化に富み、多彩な四季の移ろいを実感できます。



一乗谷朝倉氏遺跡の満開の桜(福井)

ダイナミックな手取峡谷の川下り(石川)

雨晴海岸から望む立山連峰(富山)

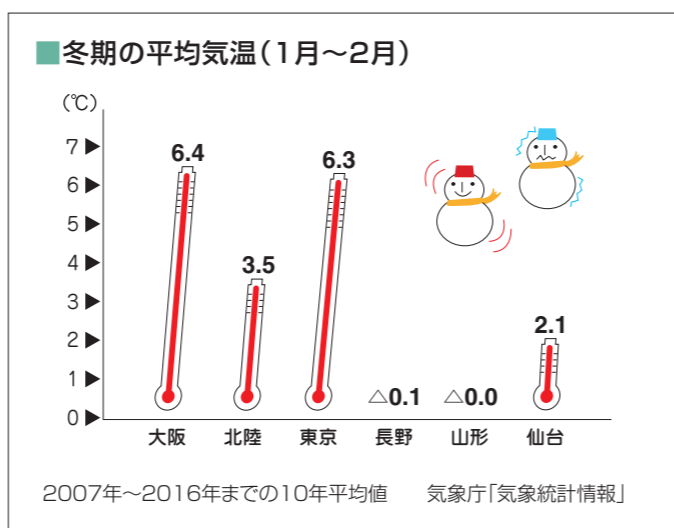
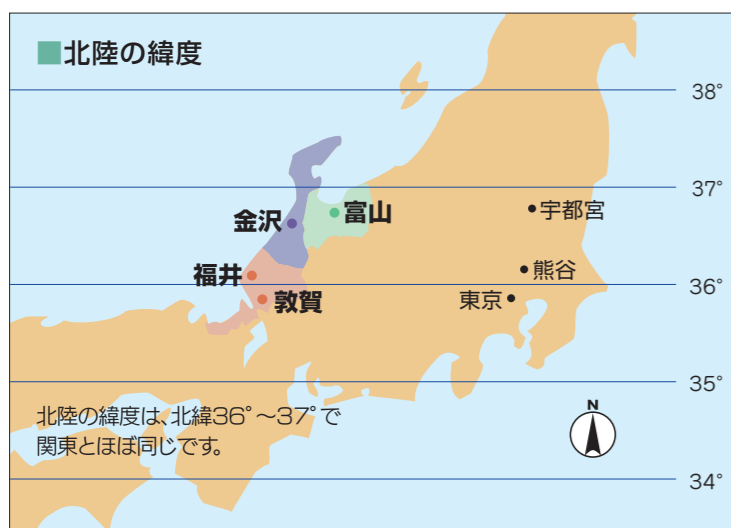
水仙の香りに包まれる越前海岸(福井)

日本の滝百選にも選ばれる姥ヶ滝(石川)

錦の紅葉が鮮やかな有峰湖(富山)

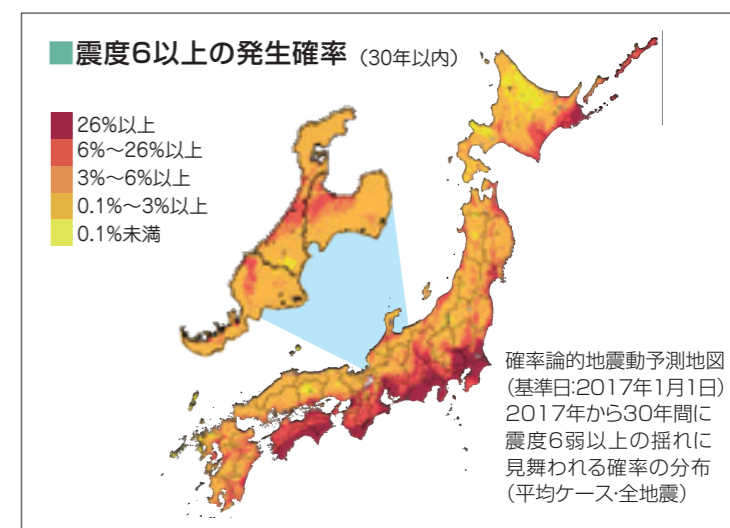
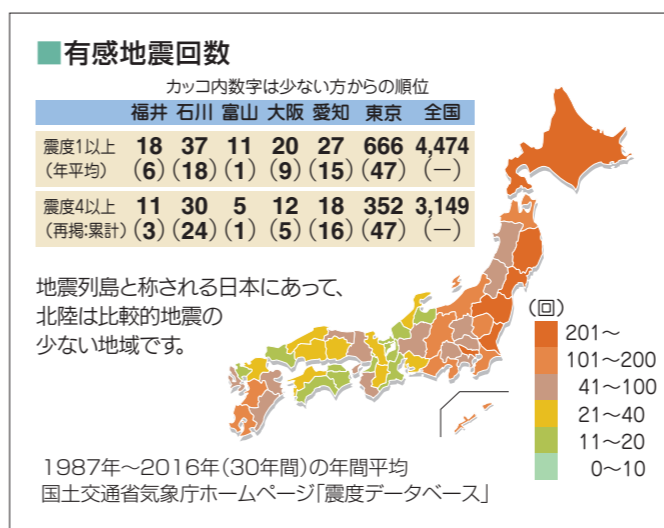
意外と寒くない、北陸の冬。

北陸は日本の北にあると思われがちですが、実際は、関東地方とほぼ同じ緯度に位置しています。また、日本海を流れる対馬暖流の影響によって、真冬でも3~4℃と意外なほど寒くありません。



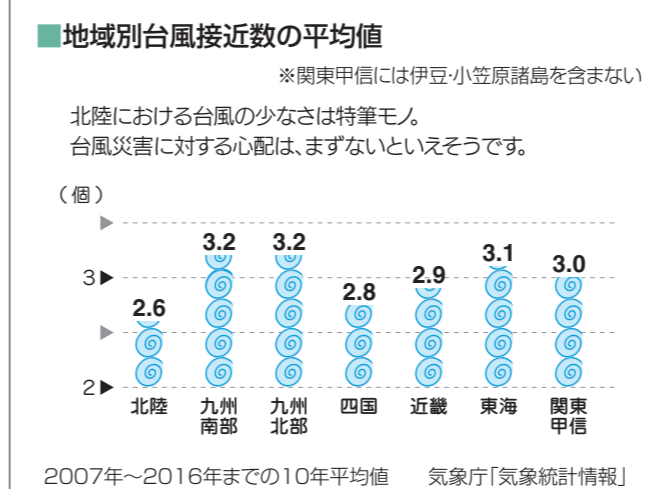
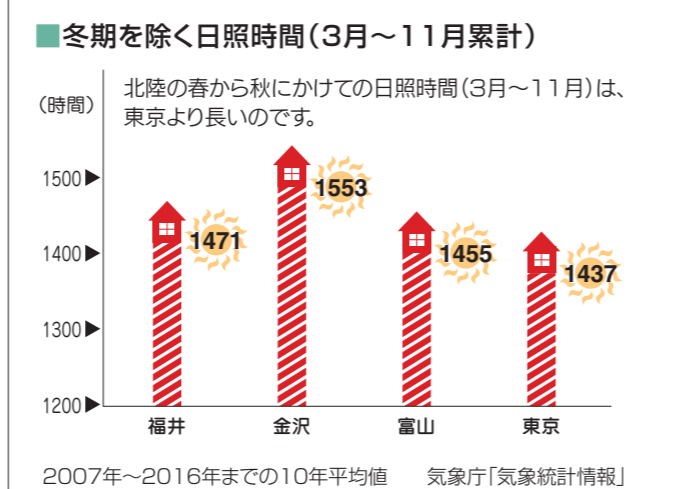
自然災害の少ない地域です。

北陸は地震や台風が非常に少なく、大震災の発生率もきわめて低い、リスク分散に最適な地域です。



四季折々の花を愛でる北陸の文化と伝統

「100万本のチューリップ」として知られる日本一のチューリップ王国(富山・砺波市)、寒中に咲く可憐な越前水仙(福井・越前町)、風情ある梅や桜で名高い兼六園(石川・金沢市)など...古くより華道・茶道が盛んな北陸には、身近な四季の花々を愛でる文化や美意識が息づいています。その伝統はいまも人々の暮らしに美しい潤いと彩りを添えています。



万葉集にも詠われた北陸の景観美

北陸の自然は景観美の宝庫。幻想的なみくりが池や弥陀ヶ原を有する立山、蜃気楼で知られる富山湾(富山)。可憐な高山植物や荘厳な滝と出会う白山、海岸線を車で走れる千里浜(石川)。日本三大松原のひとつ気比の松原、天下の絶景・東尋坊(福井)など。その感動は時代を超えて多くの人々を魅了し、古くは万葉集に詠われているほどです。